

科目名	マンガ文化論					
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照			
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2年次	単位数 2単位
教員名	山中 千恵					

授業概要／Course outline

本授業は、主に日本のマンガ（やコミックス）と、その歴史および社会との関係を論じるとともに、それらの表現の共通性と独自性について分析することで、マンガ文化の特性とは何かを考察するものである。授業では、マンガ史、マンガ産業論、表現論などのマンガ・コミックス研究の成果や、現代社会批評におけるマンガ論を整理したうえで、具体的な作品やマンガ文化を取り巻く言説の分析を行うことで、授業のテーマを深めていく。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

授業は、moodleを活用した形式で行う

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 インTRODクシヨン

授業スケジュールと注意事項を確認し、この授業での到達目標や身につく力についての説明を行なう。また、この授業で扱う「マンガ研究」の特性について、簡単に学習する。さらに、事前・事後学習として使う書籍等についても説明する。

第2回 現在のマンガ変化；デジタルコミックスの現在

電子書籍やWebコミックスの現状を紹介し、現在のマンガの変化について考察する。

第3回 マンガの歴史 1

マンガはいかに社会的に位置づけられてきたのか。言説および産業構造からこれを考察する。

第4回 マンガの歴史 2

マンガはいかに社会的に位置づけられてきたのか。事例として手塚治虫言説について分析を加える。

第5回～7回 マンガ表現論 1～3

マンガ表現論の議論及び、役割語の議論に基づきマンガ表現の特質について考察する。（オンライン・オンデマンド）

第8回 マンガ表現論 4

マンガ表現論の議論及び、役割語の議論に基づき具体的にマンガ表現を分析する。

第9回 マンガと戦争 1

戦争や災害を描くマンガを取り上げ、集合的記憶とマンガ表現の関係について考察する。（オンライン・オンデマンド）

第10回 マンガと戦争 2

戦争や災害を描くマンガが広く読まれ、多メディア展開して視聴される環境について考察する。

第11回 マンガと教育・少女マンガ

学習マンガと少女マンガをとりあげ、事実とマンガ表現の関係やマンガとジェンダーについて考察する。（オンライン・オンデマンド）

第12回 マンガとメディアミックス・アダプテーション

アダプテーション論・メディアミックス概念を理解し、マンガ作品のアダプテーションについて考察を加える。（オンライン・オンデマンド）

★オンデマンド 地域活性化とマンガミュージアム

マンガの地域社会での活用、観光産業への流用という現状について考察する。オンデマンド授業は約90分の動画

を12月1日までにMoodleで配信する。

第13回 授業内容の理解度確認テストと解説

第1回から第12回までの内容を振り返り、その理解度を問う確認テストを実施する。

第14回 授業全体のまとめ

第1回から第13回までの内容を振り返り、再度要点の確認とまとめを行う。

事前・事後学習／Preparation and assignments

第1回 テーマ：イントロダクション

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第2回 テーマ：デジタルコミックスの現在

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第3回～4回 マンガの歴史

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第5回～8回 マンガ表現論

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第9回～10回 マンガと戦争

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第11回 マンガと教育・少女マンガ

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第12回メディアミックスとアダプテーション

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

★オンデマンド 地域活性化とマンガミュージアム

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し、自分なりに説明できるようにしておく。

第13回テーマ：授業内容の理解度確認テストと解説

〔事前学習〕これまで学んだ語彙や概念を確認し、自分なりに説明できるようにしておく。

〔事後学習〕確認テストを振り返り、語彙や概念を確認し、具体的な事例を探し、自分でも分析、考察してみる。

第14回 授業全体のまとめ

〔事前学習〕これまで学んだ語彙や概念を確認し、自分なりに説明できるようにしておく。

〔事後学習〕これまで学んだ語彙や概念を確認し、具体的な事例を探し、自分でも分析、考察してみる。

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome	マンガ文化の分析に用いられる文化理論や概念を理解したうえで、現代社会・文化における課題を発見し、その解決のために自ら柔軟かつ論理的に分析し、考えることができるようになること。						
身につく資質・能力／Competencies to be attained	<table border="0"> <tr> <td>・ 思考力</td><td>専門知識・専門技能</td></tr> <tr> <td>・ 幅広い教養</td><td>【現代社会学部 現代社会学科】</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 社会学をはじめとする社会科学の応用知識</td></tr> </table>	・ 思考力	専門知識・専門技能	・ 幅広い教養	【現代社会学部 現代社会学科】		・ 社会学をはじめとする社会科学の応用知識
・ 思考力	専門知識・専門技能						
・ 幅広い教養	【現代社会学部 現代社会学科】						
	・ 社会学をはじめとする社会科学の応用知識						
履修上の注意／Special notes, cautions	・ 各回の授業内容に関する記述式の小レポートを適宜提出してもらう。 ・ 各回の授業内容に関する小テストをMoodle上で適宜実施する。 ・ 第13回目に授業内容の理解度を問う振り返りテストを実施する。 ・ 小テスト等の送信期限はMoodle上に記載されるが、期限を過ぎると送信不可なので留意すること。						
評価方法／Evaluation	平常点（小テスト・小レポート・振り返りテスト）100% 授業内で課した小レポート等について、適宜フィードバックを行うとともに、参考になる内容を取り上げ紹介することがある。						
教 材／Text and materials	1) 教材（配付レジメ、資料等）：大学HP学習支援システムMoodle（URL:https://ccims.kyoto-su.ac.jp/） 2) 参考文献：授業内に指示する						
質問や相談の方法／Instructor contact	授業に関する質問や相談などがある場合は、オフィスアワーに研究室へ訪問するか、メールで質問すること。メールアドレスやオフィスアワー、研究室の場所の詳細はMoodleに記載するので確認すること。						